



2020年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 不二精機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6400 URL <https://www.fujiseiki.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊井 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山本 幸司 TEL 06-7166-6822
 定時株主総会開催予定日 2021年3月30日 配当支払開始予定日 2021年3月31日
 有価証券報告書提出予定日 2021年3月31日
 決算補足説明資料作成の有無: 無
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期の連結業績(2020年1月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	5,912	△10.3	283	△26.9	142	△58.5	99	△65.8
2019年12月期	6,592	7.2	387	△7.5	342	28.0	289	62.9

(注) 包括利益 2020年12月期 69百万円 (△71.8%) 2019年12月期 247百万円 (154.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	12.57	12.45	6.1	2.0	4.8
2019年12月期	37.32	36.94	19.6	5.2	5.9

(参考) 持分法投資損益 2020年12月期 -百万円 2019年12月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	7,449	1,679	22.3	208.71
2019年12月期	6,984	1,639	23.1	204.34

(参考) 自己資本 2020年12月期 1,659百万円 2019年12月期 1,611百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	688	△784	255	758
2019年12月期	727	△850	43	621

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期	-	0.00	-	5.00	5.00	39	13.4	2.6
2020年12月期	-	0.00	-	5.00	5.00	39	39.8	2.4
2021年12月期(予想)	-	0.00	-	5.00	5.00		10.7	

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,463	8.2	265	17.8	241	265.2	244	803.7	30.69
通期	7,180	21.4	450	59.0	403	183.8	373	276.8	46.92

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2020年12月期	9,054,000株	2019年12月期	9,054,000株
2020年12月期	1,104,009株	2019年12月期	1,167,509株
2020年12月期	7,892,114株	2019年12月期	7,766,791株

(参考) 個別業績の概要

2020年12月期の個別業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	2,696	△19.6	110	△42.0	80	△54.6	41	△75.2
2019年12月期	3,353	18.6	190	128.9	176	△2.7	168	8.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期	5.31	5.26
2019年12月期	21.75	21.54

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	5,150	1,509	29.3	189.81
2019年12月期	4,843	1,501	31.0	190.37

(参考) 自己資本 2020年12月期 1,508百万円 2019年12月期 1,501百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる場合があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な拡大を見せる新型コロナウイルス感染症の影響により、それまでの雇用情勢や所得環境の改善による景気の緩やかな回復基調は一変し、米国の通商政策や中国経済の減速などの影響も懸念されるなど海外経済の不確実性が高まり、先行きは依然として不透明な状態で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、中期スローガンとして「安心をお届けする不二精機グループ」を掲げ、品質管理体制の徹底強化によるグループ一体となった顧客満足の更なる追求を図り、精密金型のコア技術をもとに自動車及び二輪車などの成形事業分野への積極的な展開を行い、顧客への高付加価値製品の提供による安定受注の拡大に努めてまいりました。

また、「『考動』で価値を創る」をグループ全社員の行動理念とし、「お客様の利益の最大化」を目標に、新たな価値創造、また「5S活動」を基本とする着実な品質改善活動に取り組んでおります。

このような結果、当連結会計年度の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、精密成形品その他事業においては昨年にインドネシアの子会社で実施した増産投資や秋元精機工業株式会社の連結子会社化の効果はあったものの減少し、射出成形用精密金型及び成形システム事業においても、顧客との間の検収手続きに遅れが発生したこと（射出成形用精密金型及び成形システム事業では顧客に検収をいただいた時点で売上を計上しております。）などにより減少し、前連結会計年度比6億80百万円（同10.3%）減少の59億12百万円となりました。

損益につきましては、精密成形品その他事業、射出成形用精密金型及び成形システム事業の売上高が減少したことなどにより、営業利益は、前連結会計年度比1億4百万円（同26.9%）減少の2億83百万円、主に為替差損の増加で、営業外費用が1億4百万円増加したことなどにより、経常利益は前連結会計年度比2億円（同58.5%）減少の1億42百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比1億90百万円（同65.8%）減少の99百万円となりました。

当連結会計年度のセグメントの業績については、以下のとおりであります。

<射出成形用精密金型及び成形システム事業>

売上高の約65%を占める医療機器用精密金型の売上高が、上記のとおり新型コロナウイルス感染症の影響で顧客との間の検収手続きに遅れが発生したことなどにより減少し、当セグメントの売上高は24億93百万円（前連結会計年度比19.0%減）、セグメント利益は2億66百万円（前連結会計年度比4.4%減）となりました。

なお、個別受注生産である当事業の未検収の受注残高は高水準で推移しており、各工場の稼働率は高い状態であります。

<精密成形品その他事業>

主力製品である自動車部品用成形品は東南アジア市場を中心に中期的な受注をいただき、インドネシア及びタイの子会社で増産設備の稼働がスタートしたことに加え、秋元精機工業株式会社の連結子会社化の効果もありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による稼働率の低下の影響により、当セグメントの売上高は35億86百万円（前連結会計年度比2.3%減）となりました。それに伴い、経費の削減に努めましたが、セグメント利益は22百万円（前連結会計年度比78.6%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末に比べ4億64百万円（6.6%）増加し、74億49百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金が1億36百万円、製品が1億7百万円増加し、一方、電子記録債権が30百万円、原材料及び貯蔵品が26百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億85百万円（5.6%）増加し35億円となりました。

固定資産は、主に有形固定資産が2億69百万円、投資その他の資産が21百万円増加し、一方、無形固定資産が11百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2億79百万円（7.6%）増加し39億48百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ4億24百万円（7.9%）増加し、57億69百万円となりました。

流動負債は、主に短期借入金が2億79百万円、前受金が3億95百万円増加し、一方、支払手形及び買掛金が2億44百万円、未払金が1億25百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ3億9百万円（9.2%）増加し36億58百万円となりました。

固定負債は、主にリース債務が1億37百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億14百万円（5.7%）増加し21億11百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金が59百万円増加し、為替換算調整勘定が17百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ40百万円（2.4%）増加し16億79百万円となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.8ポイント減少して22.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は前連結会計年度に比べ1億37百万円増加し、7億58百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は、6億88百万円（前連結会計年度比5.4%減）となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益1億37百万円、減価償却費4億89百万円、前受金の増加3億90百万円があった一方、たな卸資産の増加1億7百万円、仕入債務の減少1億85百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は、7億84百万円（前連結会計年度は8億50百万円の使用）となりましたが、これは主として、有形固定資産の取得による支出7億27百万円及び投資有価証券の取得61百万円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は、2億55百万円（前連結会計年度は43百万円の獲得）となりましたが、これは主として、長期借入れによる収入3億60百万円、短期借入金の純増による収入3億20百万円、セール・アンド・リースバックによる収入1億38百万円があった一方、長期借入金の返済による支出3億94百万円、リース債務の返済による支出1億37百万円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

次期につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大によるわが国経済への影響や、米中貿易摩擦などの世界経済へ与える影響が不透明な中、当社グループ全体で引き続き各事業のさらなる選択と集中を地道に進めてまいります。

精密金型事業では、日本市場で医療関連製品・食品容器関連製品、中国市場で医療関連製品に集中した営業活動とグループ内で連携した内製化の推進などの生産性向上によるコストダウンを図るとともに、研究開発投資を計画的に進め、より付加価値の高い製品を提供することにより競争力の強化を目指してまいります。

精密成形品事業では、東南アジア市場での自動車関連製品の受注拡大に伴い、THAI FUJI SEIKI CO., LTD及びPT. FUJI SEIKI INDONESIAで品質管理体制の整備を重点的に進め、増産投資による更なる業容拡大と自動化・半自動化投資による生産性の向上を目指してまいります。

2021年12月期の連結業績見通しといたしましては、売上高71億80百万円、営業利益4億50百万円、経常利益4億3百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3億73百万円を見込んでおります。

なお、上記の連結業績見通しには、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が本年夏には収束に向かう前提に立っております。引き続き、今後の業績への影響を注視し、開示が必要な場合は適時開示してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。なお、当該基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	627,373	764,346
受取手形及び売掛金	1,032,507	1,025,706
電子記録債権	218,916	188,754
製品	697,105	805,099
仕掛品	416,873	432,199
原材料及び貯蔵品	138,013	111,362
未収入金	48,155	44,350
その他	140,018	131,477
貸倒引当金	△3,775	△2,947
流動資産合計	3,315,189	3,500,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	696,116	686,330
機械装置及び運搬具(純額)	883,637	783,707
工具、器具及び備品(純額)	519,651	511,971
土地	598,912	734,781
リース資産(純額)	311,295	495,285
建設仮勘定	215,774	282,495
有形固定資産合計	3,225,388	3,494,571
無形固定資産		
のれん	38,760	34,884
その他	71,177	63,931
無形固定資産合計	109,938	98,816
投資その他の資産		
投資有価証券	90,237	146,776
長期貸付金	6,783	6,183
繰延税金資産	44,291	32,478
その他	204,663	181,175
貸倒引当金	△11,545	△11,138
投資その他の資産合計	334,430	355,473
固定資産合計	3,669,757	3,948,861
資産合計	6,984,946	7,449,210

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	825,846	581,387
電子記録債務	143,405	154,785
短期借入金	1,404,580	1,684,239
リース債務	77,265	141,012
未払金	319,609	193,896
未払法人税等	27,248	10,674
前受金	306,516	702,016
賞与引当金	88,981	67,382
製品保証引当金	27,116	19,274
その他	128,649	104,074
流動負債合計	3,349,219	3,658,743
固定負債		
長期借入金	1,755,213	1,737,148
リース債務	144,008	281,242
繰延税金負債	29,995	21,605
退職給付に係る負債	29,445	35,772
役員退職慰労引当金	14,539	14,539
資産除去債務	20,240	19,151
長期前受収益	3,177	1,764
固定負債合計	1,996,621	2,111,223
負債合計	5,345,840	5,769,967
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	864,977	858,706
利益剰余金	308,685	368,448
自己株式	△289,351	△273,230
株主資本合計	1,384,312	1,453,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,557	△1,171
為替換算調整勘定	223,693	206,500
その他の包括利益累計額合計	227,251	205,329
新株予約権	308	158
非支配株主持分	27,235	19,830
純資産合計	1,639,106	1,679,243
負債純資産合計	6,984,946	7,449,210

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	6,592,925	5,912,744
売上原価	5,137,186	4,658,383
売上総利益	1,455,738	1,254,361
販売費及び一般管理費	1,068,531	971,253
営業利益	387,206	283,107
営業外収益		
受取利息	1,217	1,308
受取配当金	1,396	346
受取補償金	2,507	—
補助金収入	—	11,180
仕入割引	1,617	—
その他	5,671	8,092
営業外収益合計	12,410	20,927
営業外費用		
支払利息	38,531	50,657
為替差損	5,557	90,443
社債発行費償却	304	—
その他	12,870	20,792
営業外費用合計	57,264	161,893
経常利益	342,353	142,141
特別利益		
固定資産売却益	—	593
特別利益合計	—	593
特別損失		
固定資産売却損	4,454	3,589
固定資産除却損	2,839	1,331
特別損失合計	7,293	4,921
税金等調整前当期純利益	335,059	137,812
法人税、住民税及び事業税	52,700	43,283
法人税等調整額	△5,193	4,026
法人税等合計	47,506	47,310
当期純利益	287,553	90,502
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△2,264	△8,693
親会社株主に帰属する当期純利益	289,818	99,195

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益	287,553	90,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,212	△4,729
為替換算調整勘定	△36,887	△15,903
その他の包括利益合計	△40,100	△20,632
包括利益	247,453	69,869
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	251,891	77,273
非支配株主に係る包括利益	△4,438	△7,404

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	500,000	861,948	49,771	△328,862	1,082,857
当期変動額					
剰余金の配当			△30,903		△30,903
親会社株主に帰属する当期純利益			289,818		289,818
自己株式の処分		3,029		39,510	42,540
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	3,029	258,914	39,510	301,454
当期末残高	500,000	864,977	308,685	△289,351	1,384,312

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	6,770	258,408	265,178	388	31,673	1,380,097
当期変動額						
剰余金の配当						△30,903
親会社株主に帰属する当期純利益						289,818
自己株式の処分						42,540
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,212	△34,714	△37,927	△79	△4,438	△42,445
当期変動額合計	△3,212	△34,714	△37,927	△79	△4,438	259,009
当期末残高	3,557	223,693	227,251	308	27,235	1,639,106

当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	500,000	864,977	308,685	△289,351	1,384,312
当期変動額					
剰余金の配当			△39,432		△39,432
親会社株主に帰属する当期純利益			99,195		99,195
自己株式の処分		△6,271		16,120	9,849
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△6,271	59,763	16,120	69,612
当期末残高	500,000	858,706	368,448	△273,230	1,453,924

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	3,557	223,693	227,251	308	27,235	1,639,106
当期変動額						
剰余金の配当						△39,432
親会社株主に帰属する当期純利益						99,195
自己株式の処分						9,849
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4,729	△17,192	△21,921	△149	△7,404	△29,476
当期変動額合計	△4,729	△17,192	△21,921	△149	△7,404	40,136
当期末残高	△1,171	206,500	205,329	158	19,830	1,679,243

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	335,059	137,812
減価償却費	345,117	489,347
のれん償却額	—	3,876
株式報酬費用	2,017	8,793
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△535	△1,234
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,941	△20,913
受取利息及び受取配当金	△2,614	△1,654
支払利息	38,531	50,657
為替差損益 (△は益)	△31,084	75,590
固定資産除却損	2,839	1,331
固定資産売却損益 (△は益)	4,454	2,996
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,320	7,694
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,593	△16,503
未収入金の増減額 (△は増加)	△26,037	2,133
たな卸資産の増減額 (△は増加)	201,930	△107,916
仕入債務の増減額 (△は減少)	29,316	△185,645
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△7,635	△37,875
前受金の増減額 (△は減少)	△63,437	390,171
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	10,513	△7,842
社債発行費償却	304	—
その他	△38,919	7,595
小計	800,489	798,415
利息及び配当金の受取額	2,614	1,460
利息の支払額	△37,286	△50,927
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△38,004	△60,286
営業活動によるキャッシュ・フロー	727,812	688,662
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,800
定期預金の払戻による収入	—	6,000
有形固定資産の取得による支出	△701,923	△727,664
有形固定資産の売却による収入	2,428	2,957
無形固定資産の取得による支出	△19,364	△3,159
投資有価証券の取得による支出	△32,633	△61,357
短期貸付けによる支出	△50,000	—
長期貸付金の回収による収入	445	600
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△43,676	—
その他	△5,432	284
投資活動によるキャッシュ・フロー	△850,156	△784,140

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	116,600	320,020
長期借入れによる収入	448,533	360,000
長期借入金の返済による支出	△309,590	△394,825
社債の償還による支出	△50,000	—
セール・アンド・リースバックによる収入	—	138,263
リース債務の返済による支出	△140,170	△137,577
ストックオプションの行使による収入	5,170	9,699
配当金の支払額	△27,044	△35,037
その他	—	△4,881
財務活動によるキャッシュ・フロー	43,498	255,662
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,090	△22,612
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△73,756	137,572
現金及び現金同等物の期首残高	695,129	621,373
現金及び現金同等物の期末残高	621,373	758,946

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

一部の在外連結子会社では、連結会計年度の期首よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上しております。

この結果、当連結会計年度末において有形固定資産の「リース資産」が94,742千円、流動負債の「リース債務」が40,587千円、固定負債の「リース債務」が52,058千円それぞれ増加しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。使用権資産の測定にはリース債務と同額とする方法を採用しており、この結果、期首利益剰余金への影響はありません。

なお、当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大により、わが国を含む世界各国の経済環境に多大な影響が生じております。今後の広がりまたは収束を予測することは困難であり、今後も当社グループの業績に影響が及ぶことが想定されます。

当社グループでは、2021年夏に向けて感染拡大が収束するとともに経済活動が徐々に感染拡大前の状況に戻るとの仮定に基づき、繰延税金資産の回収可能性の判断などの会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明であり、影響が長期化し、上記の仮定が見込まれなくなった場合には、将来において損失が発生する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、射出成形用精密金型及び精密成形品等の製造・販売に関連した事業活動を行う6社から構成されており、「射出成形用精密金型及び成形システム事業」及び「精密成形品その他事業」の2つを報告セグメントとしております。

「射出成形用精密金型及び成形システム事業」は、射出成形用精密金型の製造販売並びに当該金型と射出成形機等の成形周辺装置を組み合わせたシステムの製造販売をしております。

「精密成形品その他事業」は、精密成形品その他の製造販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」の記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益の数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び 成形システム事業	精密成形品 その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,921,896	3,671,029	6,592,925
セグメント間の内部売上高又は振替高	157,322	—	157,322
計	3,079,218	3,671,029	6,750,248
セグメント利益	279,026	107,055	386,082
セグメント資産	2,429,900	4,124,178	6,554,079
その他の項目			
減価償却費	88,488	252,963	341,451
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	76,363	705,348	781,711

当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び 成形システム事業	精密成形品 その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,326,557	3,586,187	5,912,744
セグメント間の内部売上高又は振替高	167,116	—	167,116
計	2,493,674	3,586,187	6,079,861
セグメント利益	266,858	22,878	289,737
セグメント資産	2,797,260	4,100,799	6,898,060
その他の項目			
減価償却費	89,370	385,531	474,902
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	98,429	810,501	908,930

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,750,248	6,079,861
セグメント間取引消去	△157,322	△167,116
連結財務諸表の売上高	6,592,925	5,912,744

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	386,082	289,737
セグメント間取引消去	1,124	△6,630
連結財務諸表の営業利益	387,206	283,107

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,554,079	6,898,060
セグメント間取引消去	△54,318	△62,931
全社資産(注)	485,186	614,082
連結財務諸表の資産合計	6,984,946	7,449,210

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社での余資運用(現金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	341,451	474,902	3,665	14,445	345,117	489,347
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	781,711	908,930	55,581	△59,783	837,293	849,147

【関連情報】

前連結会計年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	タイ	インドネシア	その他	合計
2,436,534	1,534,682	1,474,707	943,537	203,462	6,592,925

(注) 売上高は、販売先の所在地を基礎とし、国または地域に区分しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	タイ	インドネシア	合計
1,103,213	482,379	793,043	846,752	3,225,388

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上の特定の外部顧客がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	タイ	インドネシア	その他	合計
2,191,687	1,395,252	1,196,055	772,102	357,647	5,912,744

(注) 売上高は、販売先の所在地を基礎とし、国または地域に区分しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	タイ	インドネシア	合計
1,310,107	486,165	828,646	869,652	3,494,571

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上の特定の外部顧客がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		全社・消去	合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品 その他事業		
当期償却額	—	—	—	—
当期末残高	—	38,760	—	38,760

当連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		全社・消去	合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品 その他事業		
当期償却額	—	3,876	—	3,876
当期末残高	—	34,884	—	34,884

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)		当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	
1株当たり純資産額	204円 34銭	1株当たり純資産額	208円 71銭
1株当たり当期純利益	37円 32銭	1株当たり当期純利益	12円 57銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	36円 94銭	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	12円 45銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
(1) 1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	289,818	99,195
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	289,818	99,195
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,766	7,892
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	79	76
(うち新株予約権(千株))	(79)	(76)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(新任取締役候補)

2021年2月10日開催の取締役会において、2021年3月30日開催予定の第56期定時株主総会における決議事項のうち、下記の者を新任取締役候補者として付議することを決議いたしました。

塩 井 寿 史 (1964年3月4日生)	1987年4月	当社入社
	2004年11月	常州不二精机有限公司 出向
	2006年2月	同社総経理
	2011年7月	中国事業統括
	2014年7月	金型事業部製造部マネージャ
	2019年7月	金型事業部事業部長(現任)